

## 第648回番組審議会報告

2020年5月12日開催

### ■出席委員

佐藤卓己委員長 佐藤友美子副委員長(書面参加) 今井美樹委員(書面参加)  
島田智委員 太平信恵委員 津村記久子委員 東野博昭委員 細見良行委員

### ■毎日放送出席者

三村社長 梅本専務 木田常務 宮田常務 浜田取締役 高山取締役  
中村制作局長 和田プロデューサー 高山コンプライアンス室長  
菅野番組審議会事務局長

### ◆議事の概要

テレビ番組『せやねん!』(2020年4月18日(土)9:25~12:54放送)について意見交換した。

#### 【番組概要】

今年放送開始20年目の春を迎えた番組。トミーズを中心にファミリー感を大切にしながら、報道ニュースや芸能の話題、スポーツ、グルメ、ヒット商品の情報などを届けている。この日の放送は、タレント出演者を急遽リモート出演にした。

#### 【各委員の主な意見は次の通り】

- \*リモートで放送しているということに関しては、特に違和感はなかった。  
トミーズ健さんが庶民感覚に一番近い発言をしているような気がした。
- \*リモート放送で司会が出演者に呼びかけると、画面にひとりだけが映る「撮り切り」になる。通常スタジオで横並びだと、うまくフォローしてくれたり、突っ込まれて笑いになったり、うやむやで済んでしまうところもあるが、問いかけに答える時に横から誰も助けてくれない状況は、出演者にとってはすごくプレッシャーがかかるし、自分の主張が明確に通ることにもなり、なかなか刺激的で面白いと思う。
- \*山中真アナウンサーは、モニター越しに話す人をうまくまとめていた。毎日放送の楽屋でしゃべっている出演者とトミーズ雅さんの自宅からの画面があまりにも差が大き過ぎて、違和感があって気になったが、経緯を聞く

となるほどと思った。

\*再放送の「嗚呼！ニッポンの兄弟」と「ハッピー物々交換」が、両方とも非常に面白かった。こういう状況でもない限り、なかなか再放送はできないと思うが、こういうお宝の面白い番組が眠っていて、それを見られるというのは、非常にうれしいことだと思った。

\*吉本とか阪神タイガースが嫌いな人はまず見ないという前提であれば、問題のない番組なのかなと思う。私はその前提ではないので、ちょっと見ていてしんどい番組だと思っている。

\*コロナに関する話題では、大阪市内や観光地の取材は良かった。通常は混み合う見慣れた通りの無人の様子を知ることができた。経済効果の説明として「主な業種別にみた消費額の前年比推移」のグラフが分かりやすく表現されていると思った。

\*「ネモフィラ祭り」は開催できずに本当に残念だが、テレビが入ることで、関係者の方々の苦勞が少しでも報われたのではないかと思った。そういう所を取材するのも、テレビの役割。今後も積極的にやっていただきたい。

\*コロナの対応で、緊急的にスタジオにモニターを置いて演出するというのは、短期的にはそれでいいのかもしれないけれども、アフターコロナのこうした情報番組の演出のあり方を、もう少し長期的な視点で捉えるような形があってもいいのかなと思った。

#### 【番組制作者側の説明、質問への回答】

\*今回は『せやねん！』が、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、どういう形の放送になったかということをご覧いただいて、ご意見を頂戴しようということになった。タレントさんが全員リモートで出演する形は、この4月18日が初めての試みだった。

\*トミーズ雅さんは、冒頭に一部映像が乱れてつながらなかったが、前日にチェックをしており、当日も30分前からつないでいたが、放送2分前に途切れるというまさかの事態だった。

\*「お金のコーナー」の海遊館、天王寺動物園、ネモフィラ園の情報は、全

て今しか見られないものという観点で選択した。例えば動物だと赤ちゃんの情報、そしてネモフィラは今しか咲いていない。

以上